



はむら 市議会だより

No. 87

(通巻No.196)

平成23年2月15日発行

羽 村 市 議 会

〒205-8601

東 京 都 羽 村 市

緑ヶ丘5丁目2番地1

☎ 042(555)1111

ホームページアドレス

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



あっちのほうがいいかな (だるま市で・1月8日 農産物直売所)

第5回(12月)定例会

一般質問 市政を問う(16人の議員が一般質問)	2ページ
議会の活動報告	13ページ
審議した主な議案	14ページ
議決結果一覧	17ページ
平成22年常任委員会活動報告レポート	18ページ

平成23年 議会の予定

平成23年の定例会の予定は右のとおりです。

予定は変更になる場合がありますので、傍聴等をご希望の場合は、議会事務局までご確認ください。

3月定例会	9月定例会
3月 1日(火) 本会議	9月 6日(火) 本会議
3月 2日(水) 本会議	9月 7日(水) 本会議
3月 3日(木) 本会議	9月 8日(木) 本会議
3月 4日(金) 本会議	9月 9日(金) 本会議
3月 8日(火) 常任委員会	9月 14日(水) 常任委員会
3月 9日(水) 常任委員会	9月 15日(木) 常任委員会
3月 11日(金) 予算審査特別委員会	9月 20日(火) 決算審査特別委員会
3月 14日(月) 予算審査特別委員会	9月 21日(水) 決算審査特別委員会
3月 15日(火) 予算審査特別委員会	9月 22日(木) 決算審査特別委員会
3月 22日(火) 本会議(最終日)	9月 30日(金) 本会議(最終日)
6月定例会	12月定例会
6月 9日(木) 本会議	12月 6日(火) 本会議
6月 10日(金) 本会議	12月 7日(水) 本会議
6月 13日(月) 本会議	12月 8日(木) 本会議
6月 14日(火) 本会議	12月 9日(金) 本会議
6月 21日(火) 常任委員会	12月 14日(水) 常任委員会
6月 22日(水) 常任委員会	12月 15日(木) 常任委員会
6月 28日(火) 本会議(最終日)	12月 22日(木) 本会議(最終日)

はむらで見られる 野鳥



チョウゲンボウ (長元坊)

タカ目／ハヤブサ科でハトくらいの大きさ、「ちょうげんぼーや」と呼びたくなるようなかわいい顔をした猛禽類です。畑や草地で停空飛行をし、昆虫類やネズミなどをねらいます。市内では主に多摩川周辺で見られ、住宅地でも電線にとまって獲物をねらっている時があります。

編集後記

昨年の暮れに、西多摩の議員が一堂に集まる研修会がありました。その中で「政策条例を出す目的は住民福祉の増進にある。福祉とは住民が幸せを実感することである」との講義がありました。

ています。

「当たり前」といわれればそれまでですが、住民の幸せを第一に、「温かい心」で行政を行うことが、最も大事なことはではないでしょうか。

今年の干支の「うさぎ」のような大きな耳で市民の声を聞き、大きくジャンプできる年にしていきたいと思っています。

(露木記)

《編集委員》

露木 諒一 川崎 明夫
鈴木 拓也 大塚 あかね
橋本 弘山 山崎 陽一
小宮 國暉

市政を問う

平成22年第5回羽村市議会(定例会)を、
12月7日から12月22日までの16日間の会期で開催しました。
開会初日には、市長から、市政についての所信表明がありました。
12月7日、8日、9日には、16人の議員が一般質問を行い、
市長の考えを問いました。
※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

議員名	頁	議員名	頁
大塚あかね	2	川崎 明夫	8
石居 尚郎	2	水野 義裕	8
小宮 國暉	4	門間 淑子	9
橋本 弘山	4	鈴木 拓也	10
市川 英子	5	中根 康雄	10
露木 諒一	6	中原 雅之	11
西川美佐保	6	馳平 耕三	12
濱中 俊男	7	山崎 陽一	12

おおつか
大塚 あかね 議員
(民主党)



- ◇子どもの権利について
- ◇羽村市の農業政策について
- ◇ハーブによる、地域の活性化

子どもの権利について

「参加する権利」「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」の4つの柱からなる「子どもの権利条約」を日本は

1994年、批准した。羽村市もこの条約に依拠し、子どもと共につくる街を目指していくことが必要である。

質問 「子ども議会」で提案された意

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
(公明党)



- ◇公立保育園の民営化と子育て支援策について
- ◇ひとり暮らし高齢者への支援

公立保育園の民営化と子育て支援策

質問 公立保育園民営化のガイドライン案について市の考えは。

市長 見直す考えは現時点ではないが、

今後状況によって、民営化の年度や実施園数などを見直す必要性が生じた場合には、児童のことを最優先し、適宜、柔軟に対応していく。



▲22年8月に開催した子ども議会

見はどのように市政に反映されるのか。
市長 現在、策定中の第五次長期総合計画、生涯学習基本計画の子どもに関わる事業に生かしていく。

質問 子どもには安心して安全な環境で遊ぶ権利が保障されている。非常に危険な状態にある松林児童クラブの園庭は早急に整備するべきではないか。

市長 年内に整備工事に着手する。

質問 子どもが市政等に意見を表明し、参加する機会をどのように設けていくか。

市長 市としては、子どもの施策や計画などに子どもの視点を取り入れていくための参画機会の確保が重要であると考えている。それらの施策を検討する際に、効果的な方法により意見を聞いていきたい。

質問 子どもとの視点に立った情報発信にも、努めていくべきではないか。

市長 広報紙やホームページに子ども向けのコーナー等を設け、子どもにも分かりやすい表記、編集に努めていく。

羽村市の農業政策について

質問 農地保全の具体策について伺う。
市長 これまで、生産緑地地区の追加指定等による保全や、市内農業に対する市民の理解促進にも努めてきた。今後は諸制度の充実を国等関係機関への働きかけも進めていく。

質問 農業後継者に対してはさらなる支援が必要ではないか。

市長 今までの農業後継者クラブへの事業費支援、販路拡充等農業経営の安定と強化を図る支援に加え、新たな技術や知識習得に関する支援も行っていきたい。



▲いこいの里のいきいき講座「社交ダンスクラス」

質問 発達障害者支援コーディネーターの配置を進める考えはあるか。

市長 発達に遅れのある子どもの幼児期から義務教育就学期を通して、総合的な支援体制の整備について検討していく中で、発達障害者支援コーディネーターの機能についても検討していきたい。

質問 保護者の負担軽減策について

市長 さらなる負担軽減を行うことは考えていない。

質問 幼・保・小の連携について、具

体的施策として市の考えを聞く。

市長 提案にあるよう、小学校1年の担任教員の幼稚園、保育園での研修、小学校保護者説明会の際の入学予定児童と在校児童の交流、各園で独自に実施している学校訪問時の工夫などについて検討、実施し、園児と児童の交流を軸に、小学校へのつながりを一層強化するための実践活動を進めていく。

ひとり暮らし高齢者への支援について

質問 安否確認の具体的施策について。

市長 清掃業者等の協力を得て、情報提供をいただくことも手法の一つとして、検討していきたい。

質問 救急医療情報キット導入推進を。
市長 見守りが必要なひとり暮らし高齢者や、虚弱な高齢者等を対象とした場合の導入方法や情報の更新方法などについて、検討していきたい。

質問 買い物弱者対策について。

市長 民間主体の取り組みを、産業環境部や福祉健康部等が共同して支援していくことが望ましい。